

【RIMS 合宿型セミナー】

| | | | |
|--|--|-----|----------------|
| ① 代表者 | 所属：東北大学大学院理学研究科 | 代表者 | TU Dresden |
| | 職名：教授 | | 教授 |
| | 氏名：正宗淳 | | Stefan Neukamm |
| ② 題目：均質化法と非局所型作用素 | | | |
| (英文名：Homogenization and/or non local operators) | | | |
| ③実施期間：2023年8月7日～2023年8月11日(5日間) | | | |
| ④参加者数：18名(内、外国機関所属者8名) | | | |
| ⑤講演数：18コマ(内、英語で行われたもの18コマ) | | | |
| ⑥合宿型セミナーの概要(開催目的、成果など)： 均質化法と非局所型作用素はそれぞれが重要な研究領域として発展してきたが、近年、国内外の研究者を中心にこれらの研究領域間の融合的かつ活発な研究活動が始まっており、より有機的な交流の必要性が指摘されていた。このような状況を受け、本企画では均質化法と非局所型作用素の融合領域で活発に研究を展開している研究者を招集して情報交換を行い、今後重要だと思われる研究課題について議論を交わすことを開催目的とした。具体的には、世界的権威による基調講演、最新の研究業績に関する情報交換を行う講演、さらに、合宿という形式を積極的に活用したセミナー時間以外の自由な発想による活発な意見交換が行われた。参加者からは、情報交換と新しい知見が得られて大変有意義であったという声が多数あがり、当初の目標は達成できたと考えられる。また、参加者からは同様な合宿形式のセミナーを継続したいという声が聞かれた。 | | | |
| 研究成果の公表方法 | ⑦ 講究録を <input checked="" type="checkbox"/> 発行しない | | |
| | ⑧ 講究録以外の方法で報告集を発行する場合： タイトル： 出版社： 出版予定時期： 年 月 日頃 | | |
| | ⑨ 専門誌等による場合： 主要な論文リスト(掲載予定、プレプリントを含む。準備中も可) ● Essential self-adjointness of the Laplacian on weighted graphs: harmonic functions, stability, characterizations and capacity, Atsushi Inoue, Sean Ku, <u>Jun Masamune</u> , Radoslaw K. Wojciechowski (準備中) ● Construction of signed distance functions with an elliptic equation, Takahiro Hasebe, <u>Jun Masamune</u> , Tomoyuki Oka, Kota Sakai, Takayuki Yamada (準備中) ● Linearization and Homogenization of nonlinear elasticity close to stress-free joints, <u>Stefan Neukamm</u> , Kai Richter (準備中) ● Efficient uncertainty quantification for mechanical properties of randomly perturbed elastic rods, Patrick Dondl, Yongming Luo, <u>Stefan Neukamm</u> , Steve Wolff-Vorbeck (準備中) ● Quantitative stochastic homogenization for random conductance models with stable-like jumps, X. Chen, Z.-Q. Chen, <u>T. Kumagai</u> and J. Wang (準備中) | | |